

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」（個別商品編）

2024/1/16現在

1. 商品等の内容（当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	しんきんUSバランス・プラスゴールド（1年決算型）・証券投資信託
組成会社（運用会社）	しんきんアセットマネジメント投信株式会社
販売委託元	しんきんアセットマネジメント投信株式会社
金融商品の目的・機能	マザーファンドへの投資を通じて、海外の複数の資産（債券・株式・金）に分散投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	中長期での資産形成を目的とし、元本割れリスクを許容する方を想定しています。
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

- （質問）
- ① 金のETFとは、どのようなものですか。
  - ② マザーファンドとは、どのような意味ですか。
  - ③ 金の資産配分は、なぜ最大でも20%にとどめているのですか。

2. リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じる リスクの内容	<価格変動リスク> 株価は、政治・経済情勢、発行体の業績、市場の需給等を反映して、短期的・長期的に大きく変動する。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となります。
	<金利リスク> 金利変動により公社債等の価格が下落すること。一般的に金利低下局面では組入れた公社債等の価格は値上がりし、金利上昇局面では値下がりします。
	<信用リスク> 債券の発行体が財政難等に陥り、債券の利息や償還金をあらかじめ定められた条件で支払うことが出来なくなる場合、債券の価格が下落することがあります。
	<為替変動リスク> 外貨建て資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、基準価額が下落する要因となります。
	<流動性リスク> 有価証券を売買する際に、需給状況により希望する時期・価格で売買することができなくなることをいいます。
	<カントリーリスク> 海外の有価証券に投資する場合、投資する国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制、制度変更等による影響を受けることがあり、基準価額が下落する要因となります。

過去1年間の収益率	-2.6% (2023年8月末現在の騰落率)
過去5年間の収益率	平均-5.0% 最高-2.0% (2023年6月末) 最低-8.8% (2022年12月末) (2022年6月~2023年8月の各月末における直近1年間の騰落率)

※ 損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の13ページから15ページ、運用実績の詳細は交付目論見書の16ページに記載しています。また、本シート作成日に使用している交付目論見書に基づき記載しています。

- (質問) ④ リバランスとは、どのような意味ですか。  
⑤ 基準価額の下落率を抑えるために、どのような特色がありますか。

### 3. 費用 (本商品の購入又は保有には、費用が発生します)

(税込)

購入時に支払う費用 (販売手数料など)	窓口購入	インターネット購入
	2.20%	1.54%
継続的に支払う費用 (信託報酬など)	信託報酬：年0.902%	
運用成果に応じた費用 (成功報酬など)	ありません。	

※ 上記以外に生ずる費用を含めて詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の18ページに記載しています。また、本シート作成日に使用している交付目論見書に基づき記載しています。

- (質問) ⑥ 信託報酬や信託財産留保額は、販売会社によって異なりますか。  
⑦ 手数料がかかる商品は購入せず、iDeCoだけにする方が良いですか。

### 4. 換金・解約の条件 (本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります)

この商品の償還期限はありません。但し、繰上償還を行う場合があります。
この商品をお客様が換金・解約しようとする場合、解約手数料・信託財産留保額ははありません。
証券取引所・外国為替取引の停止等により換金や解約ができないことがあります。

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の18ページに記載しています。

- (質問) ⑧ 解約と買取ではどう違いますか。

### 5. 当金庫の利益とおお客様の利益が反する可能性

当金庫がお客様にこの商品を販売した場合、当金庫は、お客様が支払う費用(販売手数料、信託報酬)のうち、組成会社等から0.451%の手数料を頂きます。これは販売時のコンサルティング(販売仲介など)の対価としていただきます。
当金庫は、この商品の組成会社等との間で出向等の人間関係および資本的関係がありません。
「重要情報シート」のフォーマットのとおり、当金庫の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品より高く評価されるようなことはありません。

※ 利益相反の内容とその対処方針については、ホームページ「顧客本位の業務運営に関する原則」の「取組方針」をご参照ください。

- (URL) <https://www.numashin.co.jp/policy/files/fiduciaryduty.pdf>

- (質問) ⑨ あなた方のお奨めが、この商品と考えればよいですか。

## 6. 租税の概要（NISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

分配時、配当所得として普通分配金に対して20.315%、換金（解約）時および償還時は、譲渡所得として、換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%が課税されます。

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の19ページに記載しています。

## 7. その他参考情報（契約にあたっては、当金庫Webサイトに掲載された次の書面をよくご覧ください）

- ・ 販売会社（当金庫）が作成した契約締結前交付書面【目論見書補完書面】  
(URL①) <https://www.numashin.co.jp/kojin/uno/nyo/files/mokuromisyo.pdf>

※ PDF形式で掲載しています。

①



- ・ 組成会社が作成した【目論見書】  
(URL②) <http://www.skam.co.jp/fund/detail/id=44734>

※ リンク先は、当金庫が運営するホームページではありません。

当金庫はリンク先の表記等について保証するものではなく、一切の責任を負いません。

②



**契約締結に当たっての注意事項等をまとめた契約締結前交付書面【目論見書交付書面】、金融商品の内容等を記した【目論見書】については、ご希望があれば、紙でお渡します。**



商号等/沼津信用金庫 登録金融機関 東海財務局長(登金)第59号

<質問回答例>

しんきんUSバランス・プラスゴールド

	<質問>	<回答例>
①	金のETFとは、どのようなものですか。	ETFとは、上場株式と同様に、証券取引所で売買される上場投資信託のことです。ゴールドETFは、金地金の価格に連動する指数に投資していますので、当ファンドは、間接的にこの価格変動に影響を受けます。
②	マザーファンドとは、どのような意味ですか。	複数のベビーファンド（ファミリーファンド方式で運用する投資信託のうち、投資家が購入する投資信託）と呼ばれる投資信託から資金を預かり、それをまとめて運用することです。
③	金の資産配分は、なぜ最大でも20%にとどめているのですか。	株式や米国債券と比較して、流動性リスクや価格変動リスクも大きいと見られるため、一定の投資比率を上限としています。
④	リバランスとは、どのような意味ですか。	株式・債券などの構成比率が一定割合に留めて安定運用するための措置です。例えば株式の時価評価が大きくなったら一部を換金して株式の比率を下げたりします。
⑤	基準価額の下落率を抑えるために、どのような特色がありますか。	市場の価格変動リスクが高まったと判断されると、株式および金の組み入れ比率を引き下げて、短期金融資産に振り替える措置が取られます。
⑥	信託報酬や信託財産留保額は、販売会社によって異なりますか。	信託報酬は運用会社・信託銀行も受け取るものであり、また信託財産留保額はファンド資金に残すものですから、料率は商品として一律に設定されています。
⑦	手数料がかかる商品は購入せず、iDeCoだけにする方が良いですか。	お客様の財産形成の観点でiDeCoだけでは不十分ということ、また換金が自由であることなどからは、手数料がかかってもメリットはあるかもしれません。
⑧	解約と買取ではどう違いますか。	ファンド資金の側からみると、解約は口数・資金が減ります。一方で買取は別の投資家、具体的にはお客様への販売会社はその口数を買取るため、減少は生じません。ただし、お客様にとっての受取額・課税関係に相違はありません。
⑨	あなた方のお奨めが、この商品と考えればよいですか。	お客様ごとに、資産の状況やライフプランの考え方は異なりますから、一律に同じ商品を推奨することはありませんので、ご安心ください。